

目沿道の整備状況

日沿道は、新潟市を起点として日本海に沿って酒田市、秋田市、能代市、大館市を経て小坂町で東北縦貫自動車道と連結し、青森市に至る約440kmの路線です。

しかし、秋田県内では計画延長216kmのうち約42%の90kmしか開通していません。国土の根幹をなす高速道路ネットワークとしては、まだまだ不完全な状態です。

本市では、高速道路整備のスピードを加速させるため、5月19



	路線延長	供用延長	供用率
日沿道全体	約320km【約440km】	約66km【約203km】	約21%【約46%】
うち秋田県内	約181km【約216km】	約38km【約90km】	約21%【約46%】

【 】書きは、路線重複及び直轄区間を含めた総延長

日には県知事へ、同31日には東北地方整備局へ、また6月1日には国土交通省、財務省などへの要望活動を展開、地方にとって高速道路がどれだけ必要であるかを強く訴えてきました。

高速道路は、相互にリンクし、ネットワークを形成することによって、経済的にも、文化的にも大きな相乗効果が期待されます。地域の連携を密にした、国土全体

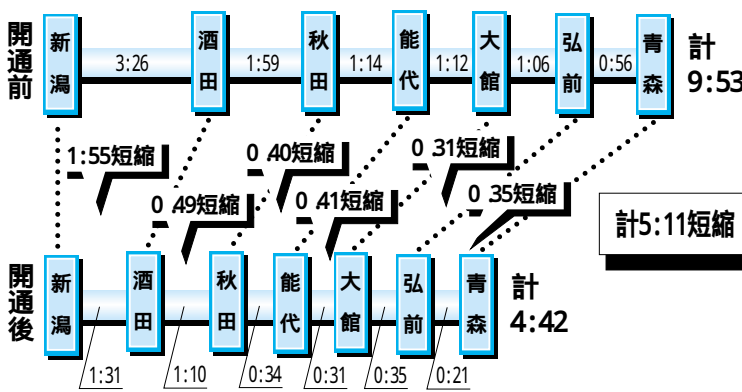
日沿道の整備効果

の均衡ある発展のためにも必要不可欠なものです。今後も引き続き

日沿道が整備されると、どのような効果があるのでしょうか。いくつかを取り上げてみました。

その1
移動時間の短縮と交流人口の増加！

・青森市、大館市、秋田市、酒田市、



関係機関へ広く理解を求めています。

新潟市の各主要都市間の移動が、それぞれ1〜2時間程度短縮され、交流人口が増加します。

その2
秋田市・秋田港の90分圏域が大幅に拡大！

・秋田港では、コンテナの取り扱い量が年々増加しており、4月21日からは東北では最大の週6便のコンテナ船寄港が確立されました。また、能代港と能代南インターチェンジが約7km、約8分つながり、さらに大館能代空港はインターチェンジと直結するなど、陸・海・空が一体となった、総合的な広域物流の活発化が期待され、新たなビジネスチャンスが生まれます。



秋田港